

- 野々市市には森林がないことから、県産材を利用した公共施設整備及び森林の大切さを普及啓発する事業に、森林環境譲与税を活用することとしている。
- 令和3年度においては、木材利用の普及啓発活動として、幼少時より木に親しみを持つ環境を整備する観点から、市内子育て支援関連施設に、国産材・県産材を使用して作成した木製のおもちゃや備品を設置した。
- 令和4年度においては、更に木材利用の普及啓発活動として、新生児の保護者に対し木製のおもちゃを送り祝いするとともに、県産材の利用を促す。

□ 事業内容

1 公共施設における木製品の備品の設置

- ・ 国産・県産材を使用した木製のおもちゃ・備品を市内子育て支援関連施設に設置。

【事業費】497千円（全額譲与税）

【実績】市内子育て支援関連施設9か所に木製のおもちゃ及び備品を設置。

（積み木セット2種類（広葉樹・能登ひば）、動物パズル、キッチン、収納箱、円卓、ベンチ）

（配布施設）市立保育園5園、子育て支援センター、保健センター、学びの杜のいちカレード、にぎわいの里のいちカミーノ



（積み木セット（広葉樹））

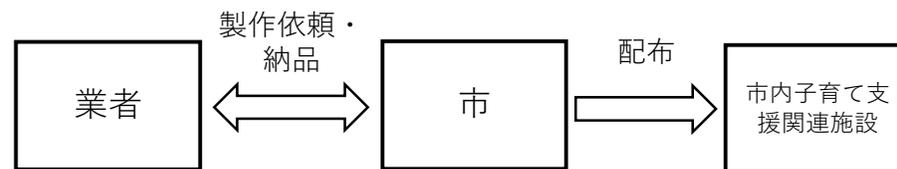


（円卓）



（キッチン）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 木本来のぬくもりややわらかさを感じてもらえるように、なるべく塗料は使用せずに作成した。また、積み木やパズルなど、子どもが直接使用するものに関して、誤飲や怪我をしないように、大きさの調整や角を丸くする等の加工を行った。
- ・ 積み木セット（広葉樹）は木の種類による違いを楽しめるように、様々な木を使用し作成。積み木自体にも木の名前を刻印した。
- ・ 円卓は、子どもが使いやすい高さに合わせて作成した。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	4,629千円
②私有林人工林面積（※1）	0 ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	57,238人
⑤林業就業者数（※4）	1人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より